

科目名称	公衆衛生看護方法論 - 1 (成人・老年・産業)
授業コード	BK220
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	高木 悦子, 岡林 知代子, 本田 順子, 糸井 和佳
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	公衆衛生看護学概論で学んだ知識をもとに地域看護学の具体的活動を中心に教授し、講義や演習を通して、公衆衛生看護活動の意義を理解する。個人や家族に対するハイリスクアプローチとしての方法や、予防的な方法論として、ポピュレーションアプローチを学び、健康課題の特性に応じた介入方法と技術についても学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	公衆衛生看護の実際について、保健師経験があり研究業績がある教員である本学の教員（糸井；保健師一元特別区保健師、高齢者学会、高木；保健師一元特別区保健師、元国立病院助産師、本田；保健師一元埼玉県職員、地域看護学学会）産業保健（岡林；保健師一東京海上日動火災人事企画部ウェルネス推進課主任・産業カウンセラー）を実践している看護職から実践例を含めて講義を行う。
到達目標	<p>本学のディプロマポリシーの「地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し、個人・家族および地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力を有している。」を目標とし、カリキュラムポリシーの「6. 地域包括ケアシステムの要として多職種や地域住民と連携・協働できる能力を培うための科目を配置する。」として、多様な健康レベルや看護実践能力を養い、地域包括ケアシステムの要として活躍できる能力を培うために、1～6の到達目標を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.公衆衛生看護活動の場と看護職者の役割</li> <li>2.成人期の住民の健康相談の方法が理解できる。</li> <li>3.地域高齢者のニーズならびに生活状況、健康課題の把握と介護予防を理解できる。</li> <li>4.地域精神・障がい者（児）の支援の方法を理解できる。</li> <li>5.産業活動の方法を理解できる。</li> <li>6.地域におけるグループの理解と健康課題への支援の方法を理解できる。</li> </ol>
計画・内容	<p>第1回：【オリエンテーションと障害者保健活動】障害者保健施策と障害者の生活特性と自立支援 担当教員 高木悦子</p> <p>第2回：【学校保健活動】保健教育と保健管理・養護教諭の支援方法 担当教員 糸井和佳</p> <p>第3回：【成人保健活動】わが国の成人保健施策の現状 担当教員 高木悦子 本田順子</p> <p>第4回：【成人保健活動】特定健診、特定保健指導とNCDs対策 担当教員：高木悦子</p> <p>第5回：【成人保健活動】内容・企業における成人期の人々に対する健康管理の実際 担当教員 岡林知代子</p> <p>第6回：【高齢者保健活動】介護保険制度と後期高齢者医療制度 担当教員 糸井和佳</p> <p>第7回：【高齢者保健活動】地域における高齢者保健と地域包括ケアシステム ・地域における高齢者の見守り 担当教員 糸井和佳</p> <p>第8回：【歯科保健活動】地域における歯科保健の現状と歯科保健活動 担当教員 高木悦子</p>

授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を中心に授業を進めるので、必ず購入すること。</li> <li>・学習を深めるためのプリントを配布する。</li> </ul>
能動的な学びの実施	該当しない。
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時に配布されたプリントを復習すること（各回1時間程度）</li> <li>・成人保健、高齢者保健、産業保健、学校保健、歯科保健、障害者保健に関する授業についての基礎的な知識を予習すること（各回1時間程度）。</li> </ul>
教科書・参考書	<p>【教科書】 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院</p> <p>【参考書】 厚生の指標 国民衛生の動向（厚生統計協会）</p>
成績評価方法と基準	定期試験（100%）
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題プリントの必要箇所については授業内で解説を行う。</li> <li>・リアクションペーパーの内容を参考に授業への反映を行う。</li> </ul>
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	必修科目であり、公衆衛生看護方法論（必修）の前提科目となる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面授業となった場合の</p> <p>授業の進め方 Zoomによりリアルタイム授業と、You tubeを用いたオンデマンドの講義配信を実施。 外部講師はZoomによる授業とする。</p> <p>成績評価方法と規準 課題プリント 20% 定期テスト 80%</p>